

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	伊東市立さくら園		
○保護者評価実施期間	令和6年12月6日		～ 令和6年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和6年12月6日		～ 令和6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが安心感を持って楽しみを感じながら通所できる環境づくりに心がけています	子どもたちを2グループに分け担当制を取っていますが、職員全員が子ども全員の特性を共有し、支援に関わることができるよう取り組んでいます	毎朝のミーティングで1日の流れや、子どもたちの様子を確認することで、チームでの支援ができるよう情報共有は徹底して行います
2	子どもの発達状態に応じた活動プログラムを計画し、室内だけでなく屋外でも体を動かしたり様々なことを経験できるようにしています	毎月の予定を作成し、季節や行事に合わせた活動を取り入れ、それをもとに個々の発達にそって無理なく参加できる方法で経験していきます	サーキット・リトミック・個別の机上活動などの個別記録をとり、次の活動のステップアップにつなげます
3	隣接する富士見保育園と一年通して交流を持ち、行事も合同で行っています	自由あそびや行事・集会に参加し、いろいろな人とのかかわりを広げる機会を多く持ちます	富士見保育園との行事や年齢ごとの打ち合わせをさらに密に行い、無理なく交流できるよう努めます

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門性を持つ職員（作業療法士・臨床心理士・言語聴覚士など）がない	保育士・看護師の配置はあるがその他の専門職がないため、月1回来園してもらっています	外部の専門職の来園日に、活動中での個々の様子を見てもらい、カンファレンスを受け日々の支援に活かしていきます
2	子どもたちの活動スペースの確保の難しさ	部屋がワンフロアなので、パーティションで仕切ったり、活動に合わせてスペースを作っています	個別活動やクールダウンするためには静かな場所が必要だが、仕切るだけでは落ち着かないので午睡室や廊下などを上手に活用できるよう考える必要があります
3	保護者向けの研修や交流機会の少なさ	月に一度程度の割合で、保護者の参加行事を計画しているが、子どもの病院やリハビリ・仕事の予定もあるため、それ以上増やさず、その中で研修や父母会などを行っています	保護者の要望を伺いながら、行事などを検討していきたいです